

2022年(令和4年)6月2日(木曜日)

三島駅南口再開発 県が組合設立認可

知事「環境配慮」など付帯意見

三島市などが進めるJR三島駅南口東街区の再開発事業で、県は再開発組合の設立を認可し、一日公表した。共に事業を進める関係者を代表し市は二月一日、県に認可申請書を提出したが、地下水への影響などを懸念する一部市民の声を受け、県は市に追加資料の提出を求めるなどしたため、審査が長引いた。認可を受け市側は、本年度中に実施設計などを進め二〇二三年度中に工事着工を目指す。

事業では、約一・三畧の敷地に高さ約九十びの商業施設兼マンション建設などが計画される。地下水への

影響を懸念する市民からは反対の声が強く、川勝平太知事もたびたび懸念を表明してきた。認可にあたり川勝知事は、市側に地下水や環境への配慮などを求める五分野十六項目の付帯意見を送った。

県によると意見は認可には関係なく、あくまで要請にとどまる。市民からの懸念について豊岡武士市長は五月の会見で「市議会の議決により市全体の意思は決定されたと思っている」などと話していた。市の担当者には認可を受け「水は市の宝だ。これからも丁寧な説明をしていく」と話した。

(渡辺陽太郎)



現在は駐車場として利用されている事業用地＝三島市で(2020年10月撮影)